

令和3年11月1日（月）
自治会長情報交換会

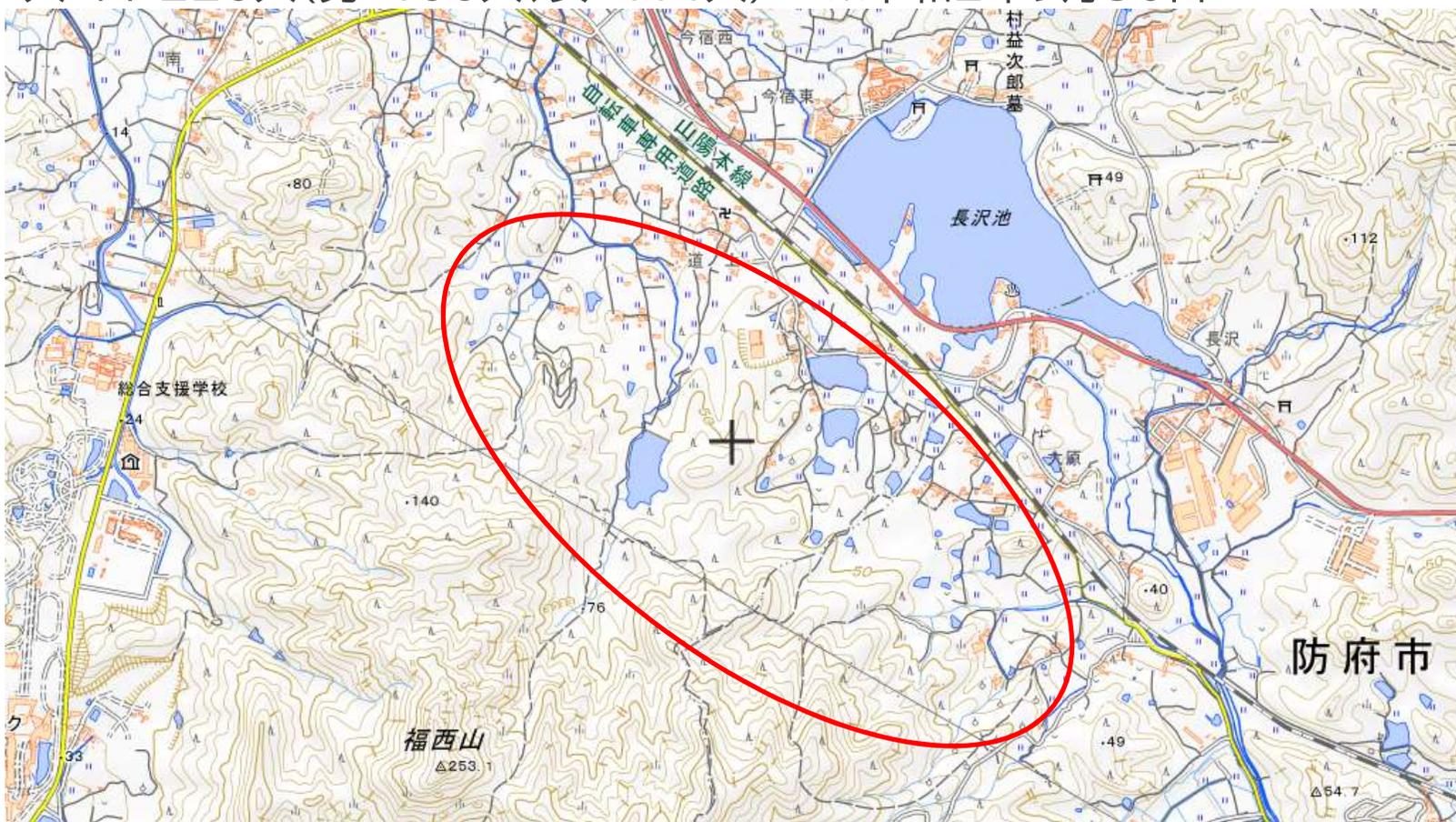
運営・交流

鑄銭司道の上自治会
～ 夏祭りを通じた地域づくり ～

道の上自治会の紹介

世帯数:95世帯

人口:220人(男 106人、女 114人) ※令和2年9月30日



道の上地域の問題

- ・以前は、南部地域で子供の球技大会を開催



- ・子供の減少により、球技大会が無くなった
- ・球技大会の後に、子供の慰労会を実施していたが、できなくなった



- ・慰労会の代わりに、道の上地域での夏祭りを計画
- ・道の上を愛する友の会(男性)と野ぼらの会(女性)が親睦と友和を目的に始めた。

夏祭りを始めるにあたって・・・

- ・開催日を毎年8月15日に固定
 - ⇒ お盆に開催することで、地域外の人にも集まりやすい
地元を離れた人が帰省し、交流の場とする
開催日を固定することで、忘れない
- ・バザーや寸劇、盆踊りを開催
 - ⇒ 道の上地域以外からも人が集まってくる

これまでに、28回ほど開催

(道の上夏祭りの風景)



地域外の参加者

地域外の参加者は、河原、大村をはじめ、今宿区や鑄銭司各地区から参加がある。

全体参加者は、150～200人である。

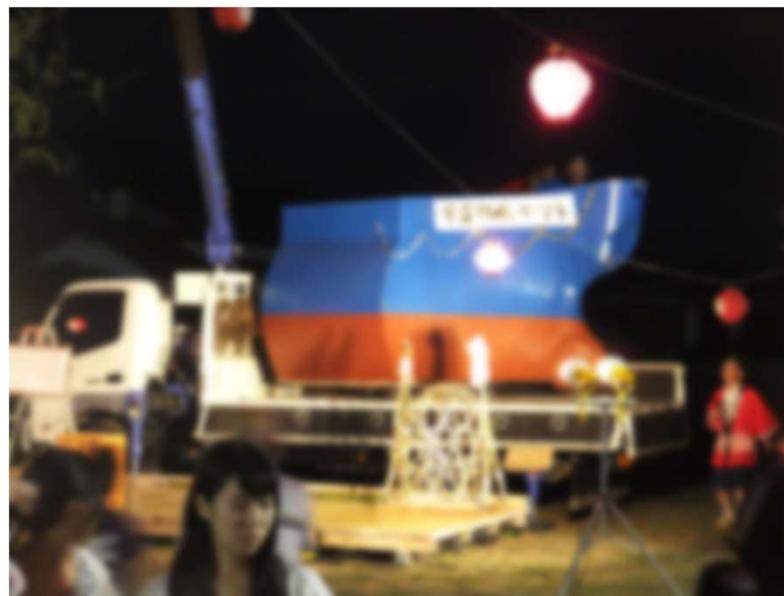


寸劇の練習

本番前の最終確認に余念がない寸劇担当者。



(道の上夏祭りの風景)



夏祭りの効果

- ・地域を離れた人たちも、祭りをきっかけに帰省してくる

⇒ 場所づくり

「帰ってくる場所がある」という意識付け

- ・道の上地域以外の人も祭りに参加してくる

⇒ 新たな交流

参加者どうしによる新たな交流が生まれる

道の上の夏祭りが、他地域へも波及

鑄銭司「河原(こうら)自治会」でも、夏祭りを開始
道の上の前日(8月14日)に毎年開催

⇒両地域の夏祭りは鑄銭司地域の名物として定着

(河原夏祭りの風景)



課題(悩んでいること)や失敗談

- ・少子化によって子供が減りつつあり、祭りが盛り上がりなくなっている。
- ・仕入れた物が思ったほど売れなかった。
- ・軒数が減少していく中で、どうやって参加者を維持していくか。
- ・後継者の問題。

今後の展望

- ・夏祭りに加え、『**防災**』をキーワードに、新たな地域づくりを展開していきたい。